

図7 模型設計のステップ (右列の図は河邊清治「無歯顎の臨床」(一世出版)より)

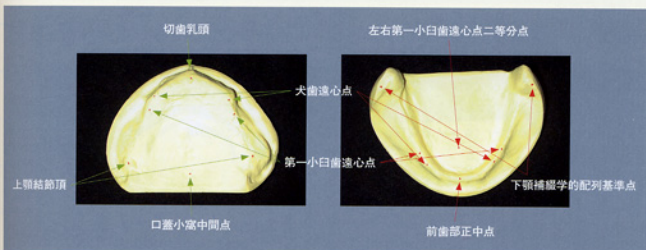


図8 基準点

まる。これらは、後の咬合床製作や咬合採得、人工歯配列(排列)などの工程において重要になってくる。上下顎それぞれ8カ所を基準点とする。

1. 上顎

- ・切歯乳頭
- ・口蓋小窩中間点
- ・上顎犬歯遠心点(左右)……欠損前の位置
- ・上顎第一小臼歯遠心点(左右)……犬歯遠心点から遠心側に1歯分の位置
- ・上顎結節頂(左右)

2. 下顎

- ・前歯部正中点……舌小帯と下唇小帯を参考に決定する
- ・下顎犬歯遠心点(左右)……欠損前の位置
- ・下顎第一小臼歯遠心点(左右)……犬歯遠心点から遠心に小臼歯1歯分の位置
- ・下顎犬歯遠心点から遠心に第二小臼歯と第一大臼歯が下顎歯槽の頬舌の中央にくる延長線を引いた点(“下顎補綴学的配列基準点”)
- ・左右下顎第一小臼歯遠心点を結ぶ線の二等分点